

2014年度環境報告書

1. 適用対象事業所の概要

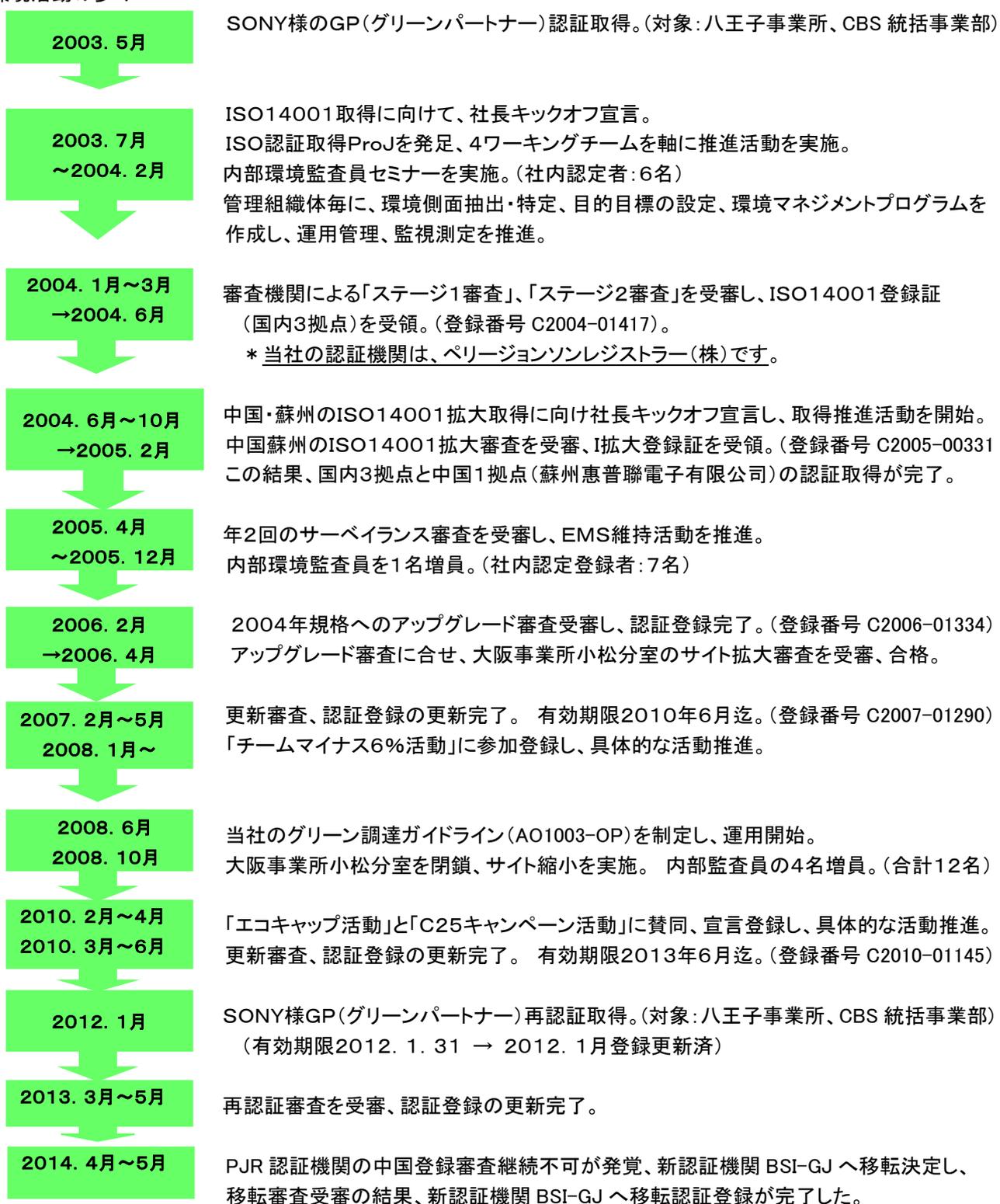
当社は、下記の国内3事業所及び蘇州惠普聯電子有限公司を環境管理の管理組織体と称し、4管理組織体毎に、事業活動、製品及びサービス領域における環境マネジメントシステムの確立、運用管理、監視、改善活動を推進し、環境パフォーマンスの向上に努めています。

[適用事業所]

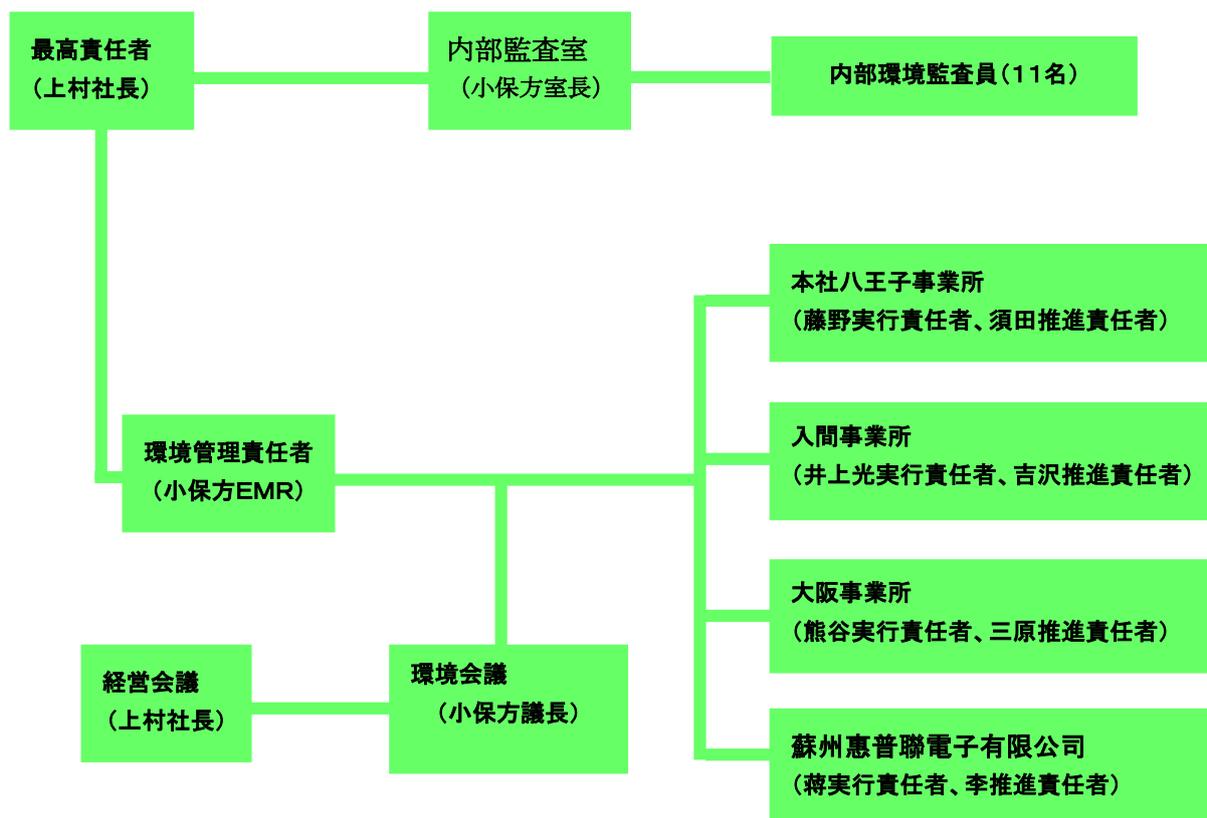
a. 本社、八王子事業所 b. 入間事業所 c. 大阪事業所 d. 蘇州惠普聯電子有限公司(中国江蘇省)

2. 環境保全への取組み

1) 環境活動の歩み



2) 環境管理組織(2014年度)



3) 環境方針(2014年度)

<p>環境方針</p> <p>環境理念</p> <p>私達は、地球環境保全が21世紀における人類の最も重要な課題の一つであることを認識し、地球環境保全と将来の世代の夢が守られる持続可能な社会の義務にむけ、積極的に貢献を行っていきます。</p> <p>環境方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータバスシステムに関する事業活動を通じ、省資源、省エネルギー、廃棄物の減量、有機溶剤消費の削減を行い、環境負荷の軽減に努めます。 2. 環境配慮設計及びグリーン調達に取組み、有害物質の使用を避け、RoHS適合製品の提供を推進（鉛フリー等）し、有益な環境側面の創出に努めます。 3. 継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。 4. 法規則、顧客要求・その他要求事項を順守し、環境保全を推進します。 5. 環境目的、目標を設定、運用管理、監視・測定し、必要に応じて見直しを実施します。 環境パフォーマンスの向上のため、定期的なレビューを行い、環境管理システムの改善活動を推進します。 6. この方針は文書化し、実行維持し、全従業員と当社のために働く人に周知徹底します。 また、社外からの人々の要求に対して、開示します。 <p style="text-align: right;">制定 2014年 04月 01日</p> <p style="text-align: center;">エブレン株式会社 代表取締役社長 上村 正人</p>

4) 方針、目的目標及び活動実績の概要

2014年度のISO14001EMS活動は、引き続き2004年規格のマネジメントシステムの運用定着活動と有益な環境側面の創出を含めた環境パフォーマンス向上活動へ継続的に取り組みました。

推進のポイントは従来同様、継続的に、1つは法規制と同意するその他要求事項の順守活動、2つ目はお客様へ環境に配慮した製品の提供及び製品の規制物質などの有害含有物を削除、削減を行い、RoHS指令等に適合した製品創出活動、3つ目は快適な職場環境の改善実現活動及びオフィス環境の負荷低減、減量、維持管理活動です。本年度も環境省のチャレンジ25キャンペーン活動に登録し、東日本大震災の電力需給逼迫問題を教訓とし、「スーパークールビズ活動」と「ウォームビズ活動」を推進して、電力使用量の削減及びCO2の削減に努め、今期も基本電気料金の基となる“最大需給電力値の抑制”の具体的な改善に取り組み成果を得ました。

また、今期も滞留資産のトレンド管理、分析を行い、発生抑制の継続的改善に取り組みました

併せて、継続的に廃棄物の処理費用発生から有価物としての売却化に取り組み、プラスの成果を得ました。

引き続き、著しい環境側面を踏まえ、有益な環境側面の創出活動を主軸にした環境管理への取り組みを経営方針の1つとし、事業活動との融合を図り、環境管理費用の低減と環境保全活動を推進しております。

5) 2014年度の実績評価

①改善推進テーマ

推進テーマ	管理組織体	目標値	実績値	判定	達成率
有益な工場環境の実現 (HHdiv:モデル工場)	HHdiv	8件の改善実行[5Sの推進]	8件改善完了	○	100%
	HHdiv	8件の改善実行[安全環境配慮製造ライン]	13件改善完了	○	163%
	HHdiv	12件の改善実行[変種変量製造ライン]	17件改善完了	○	142%
	IPlant	8件の改善実行	9件改善完了	○	112%
	Odiv	24件の改善実行	60件改善完了	○	250%
RoHS対応製品の供給	SZE	部品24件以上	24件完了	○	100%
資源枯渇抑制(仕損じ撲滅活動)	HHdiv	550,000円以下	650,770円	×	118%
	IPlant	96,000円以下	307,812円	×	321%
	Odiv	120,000円	203,363円	×	169%
	SZE	23,988円以下	9,803円	○	41%

②継続監視テーマ

推進テーマ	管理組織体	監視基準値(125%)	前年実績値	実績値	前年対比率	判定
RoHS対応製品の供給(鉛フリー化推進)	HHdiv	61.11kg以下	48.89kg	34.61kg	71%	○
	IPant	7.50kg以下	6.00kg	12.90kg	215%	×
	Odiv	9.38kg以下	7.50kg	16.00kg	213%	×
	SZE	0.00kg以下	0.00kg	1.00kg	1000%	×
資源枯渇抑制(ガソリン)	HHdiv	10.02km/ℓ以上	12.52km/ℓ	12.97km/ℓ	104%	○
	IPlant	7.38km/ℓ以上	9.23km/ℓ	9.36km/ℓ	101%	○
	Odiv	9.91km/ℓ以上	12.39km/ℓ	12.55km/ℓ	101%	○
資源枯渇抑制(電力使用量)	HHdiv	208,024kWh以下	166,419kWh	165,500kWh	99%	○
	IPlant	130,505kWh以下	104,404kWh	94,647kWh	91%	○
	SZE	35,013kWh以下	28,010kWh	18,170kWh	65%	○
	Odiv	121,221kWh以下	96,977kWh	100,608kWh	104%	△
資源枯渇抑制(最大需要電力)	HHdiv	-	861kw	780kw	91%	-
	IPlant	-	695kw	620kw	89%	-
	Odiv	-	667kw	618kw	93%	-
資源枯渇抑制(電力料金)	HHdiv	5,418,939円以下	4,335,151円	4,424,639円	102%	△
	HHdiv	2,514,330円以下	2,011,464円	1,939,624円	96%	○
資源枯渇抑制(廃棄物)	HHdiv(一般)	225.0kg以下	180.0kg	530.0kg	294%	×
	IPlant(一般)	212.5kg以下	170.0kg	160.0kg	94%	○
	Odiv(一般)	-	1,280.0kg	3,000.0kg	234%	×

	HHdiv(産業)	3,811.3kg以下	3,049.0kg	2,618.0kg	86%	○
	IPlant(産業)	1,562.5kg以下	1,250.0kg	2,398.0kg	192%	×
	Odiv(産業)	906.3kg以下	725.0kg	0.0kg	0%	○
	Odiv(ダンホール)	2,003.8kg以下	1,603.0kg	4,280.0kg	267%	×
	HHdiv(有価)	-	118,426円	69,477円	59%	-
	IPlant(有価)	-	31,432円	22,225円	71%	-
	Odiv(有価)	-	67,808円	84,000円	124%	-
	SZE(有価)	-	11,385円	17,730円	156%	-
資源枯渇抑制 (用紙)	HHdiv	406,250枚以下	325,000枚	282,000枚	87%	○
	SZE	28,125枚以下	22,500枚	24,500枚	109%	△
資源枯渇抑制 (水道)	HHdiv	389m ³ 以下	311m ³	313m ³	101%	△
	IPlant	101m ³ 以下	81m ³	62m ³	77%	○
	Odiv	479m ³ 以下	383m ³	254m ³	66%	○

③電力使用量とCO2削減成果(スーパークルビズ活動/ウォームビズ活動)

部門	HHDIV	IPLANT	ODIV	国内計	※SZE	Gr.計
削減電力量(KWH)	83,050	39,149	66,690	202,272	4,118	206,390
削減経費(円)	2,304,065	1,365,010	1,748,193	5,417,268	107,667	5,524,935
削減CO2(Kg)	35,846	21,003	27,140	83,989	1,638	85,627

④3R活動の成果

部門	HHDIV	IPLANT	ODIV	計
全体排出量(kg)	4,320.8	5,034.0	9,760.0	19,114.8
有価物分別量(kg)	1,172.8	2,476.0	2,480.0	6,128.8
有価物割合(%)	27.1%	49.2%	25.4%	32.1%
有償換金(円)	69,477	22,225	84,000	175,702

⑤エコキャップ収集活動の成果

部門	HHDIV	IPLANT	ODIV	計
収集量(Kg)	11.7	6.2	5.9	23.8
収集量(個数)	5,031	2,666	2,537	10,234
ワクチン(人分)	5.9	3.1	3.0	11.9
削減CO2(Kg)	37	20	19	75

6) 外部審査と内部監査の結果

審査、監査の区別	外部審査	内部監査			
		国内3部門	HHdiv	IPlant	Odiv
対象部門	国内3部門				
監査期日	15. 03	14. 10	14. 11	14. 11	15. 03
監査結果(不適合/要観察/コメント)	1件/1件/5件	0件/0件/1件	0件/0件/2件	0件/0件/1件	0件/0件/1件

7) 2015年度の主な取組みテーマ

- “Fun to Share”や各種エコ活動への賛同活動を推進します。(Sクルビズ活動、ウォームビズ活動の定常的推進)
- 新しいビジネス(システムソリューション事業)のISO認証登録に向け、ISO取得Pj活動に取り組みます。
- 2015年規格に適合のため、規格要求事項の把握とマニュアルの全面見直しに着手します。
- 本社八王子地区における“モデル工場化”活動を継続し、より具体的な目標と施策、到達点を明確にした活動に進化させ、その成果を他事業所に有効展開を図り、継続的に環境品質パフォーマンス向上に努めます。
- 資源枯渇に着眼し、滞留資産の発生抑制と生産財の無駄な廃棄削減の監視・改善活動を継続推進します。
- 環境管理費用の管理方法の調査、情報収集及び低減活動を継続的に推進します。